

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-132	高等学校	国 語	国語総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	国総 333	精選国語総合		

1.編修の趣旨及び留意点

- ①適切に表現し、的確に理解する言語能力を育成し、伝え合う力を高める。
- ②論理的思考力を身につけるとともに、豊かな感性や情緒を育み、言語文化に対して関心を持つ。
- ③教材本文とコラム・附録とを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。

2.編修の基本方針

- ①適切に表現し、的確に理解する言語能力を育成し、伝え合う力を高める。
 - ・各単元扉に、その単元での学習目標を示すとともに、現代文編では、教材ごとに学習する主な目標も示しました（詩歌単元を除く）。また、「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
 - ・「言語活動編」を設け、その活動と現代文編の教材本文との関連を図ることで、「話す・聞く」「書く」「読む」の学習が、有機的・効果的に行えるようにしました。
 - ・話し合ったり書いたものを読み合ったりする活動を豊富に配置し、更に相互評価する活動を取り入れることにより、伝え合う力を高められるように工夫しました。
- ②論理的思考力を身につけるとともに、豊かな感性や情緒を育み、言語文化に対して関心を持つ。
 - ・論理的思考力を身につける教材として、評論4単元を用意し、人間・社会・言語などの分野のものをバランスよく採録、配置しました。
 - ・豊かな感性や情緒を育む教材として、小説3単元・詩歌1単元を用意し、さまざまな形式の文学に触れられるようにしました。また、筆者の豊かでユニークな感性が表れた随想1単元を配置しました。
 - ・古文編・漢文編でも、古文編は8単元、漢文編は5単元を用意しました。論理的思考力を身につけるとともに、豊かな感性や情緒を育み、伝統的な言語文化に対して関心を持てる教材を、時代やジャンルのバランスに配慮して配置しました。
- ③教材本文とコラム・附録とを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。
 - ・現代文編では「小説の読み方」「評論の読み方」を設け、小説・評論の読解のポイントを示しました。
 - ・現代文編では「文学への扉」(2か所)、「思考への扉」(3か所)、古文編では「古文の窓」(7か所)、漢文編では「漢文の窓」(5か所)をそれぞれ設け、単元や教材で学習した内容を深めたり広げたりできるようにしました。
 - ・古文編では「古文学習のしるべ」(5か所)を設け、古文に関する基本的知識や文法事項を、読むことの学習に即して身につけられるようにしました。
 - ・附録には、「評論読解へのアプローチ」「評論文キーワード」「近代文学史キーワード」「読書案内」「古文重要語句索引」「日本古典文学史年表」「漢文句法・重要語のまとめ」「中国文学史年表」などを用意し、多様な学習に対応できるようにしました。

3.対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
現代文編	1 随想	・最先端の仕事における説明の分かりやすさを通して、「届く言葉」とはどのようなものなのかを述べる随想を用意しました。(第2号)	→10～15ページ
	2 小説 1	・極限状態にある人間が、正義と悪の間を揺れ動く様子を通じて、正義とは何か、勇気とは何かについて考える小説を用意しました。(第3号)	→22～35ページ
	3 評論 1	・自己と世界との関係を確かめる「旅」によって、無数の未知を発見することができる」と論じる評論を用意しました。(第1号)	→50～54ページ
		・水を鑑賞するという行為をもとに、日本と西洋との文化の違いを比較して述べる評論を用意しました。(第5号)	→55～60ページ
	4 小説 2	・死に直面する経験をした「私」が、他者の死に接することで自らの生を意識し、生と死について考える小説を用意しました。(第4号)	→66～76ページ
		・沖縄戦において、負傷者たちへの献身を貫いて亡くなった看護師の姿を通じて、平和について考える小説を用意しました。(第5号)	→77～97ページ
	5 評論 2	・社会が物質的欲望に駆られた結果もたらされた状況を分析し、真の科学について論じる評論を用意しました。(第3号)	→100～105ページ
	6 詩歌	・P122「I was born」、P126「夏の姿」など、高校生の情操を培うのにふさわしい詩・短歌・俳句を用意しました。(第1号)	→118～136ページ
	7 評論 3	・ワークショップを通してできあがったコミュニティをもとに、まちの豊かさとは何かについて論じる評論を用意しました。(第3号)	→138～145ページ
・生きていくうえで、真の意味での自立を身につけていくことが重要であると論じる評論を用意しました。(第2号)		→146～152ページ	
8 小説 3	・周囲の人々との交流の様子や主人公の心情が、折々の富士山の景観に対する印象を交えて語られる小説を用意しました。(第5号)	→164～178ページ	
9 評論 4	・生物の多様性を守り、環境を保全するために、人間は何をすべきかを述べる評論を用意しました。(第4号)	→192～198ページ	
言語活動編	・クラスで自己紹介を行う課題を通じて、他者との協力の態度を養い、自己と他者に対する理解を深める教材を用意しました。(第3号)	→208～209ページ	
	・「生物多様性」というテーマについて、現状や問題点などを調査・発表するとともに、自然について考える態度を養う教材を用意しました。(第4号)	→210～213ページ	
	・「外来語の使用」というテーマで討論し、ルールを守りながら主体的に議論へ参加する態度を養う教材を用意しました。(第3号)	→214～217ページ	
	・自分が見たり感じたりしたことを随筆にまとめる課題を通じて、表現の工夫の仕方を学び、創造性を培う教材を用意しました。(第2号)	→218～219ページ	
	・「感情」について述べられた文章を読んで、根拠を明確にし、論理を工夫しながら自分の意見を述べる教材を用意しました。(第1号)	→220～223ページ	
古文編	1 古文入門	・個人の能力や生き方について考えることができる教材を用意しました。(第2号)	→244～245ページ
		・古文についての理解を深める「古文学習のしるべ」を用意しました。(第5号)	→238～239, 242～243, 246ページ
	2 随筆	・日常の風景などから真理を追究していく随筆を用意しました。(第1号)	→248～257ページ
	3 歌物語	・現代とは異なる平安時代の風習などについて解説したコラムを用意しました。(第1号)	→270ページ
4 日記と随筆	・他者との共生や周囲の人への愛情など、人間の営みについて考えることができる教材を用意しました。(第3号)	→272～278ページ	

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
	5 作り物語と軍記物語	・戦場での人物の心情や行動を通して、他者への思いやりなどについて考える軍記物語を用意しました。(第3号)	→296～305ページ
	6 和歌	・さまざまな時代や作者の桜の歌を通して、日本の文化の特徴に触れる言語活動を用意しました。(第5号)	→322～324ページ
	7 俳諧	・各地の自然の様子を描写した俳諧紀行文を用意しました。(第4号)	→326～333ページ
	古文の広がり	・言葉の変遷について解説した文章を用意しました。(第5号)	→335～337ページ
	1 漢文入門	・熟語や人口に膾炙した格言を通じて、訓読の方法や日本における漢文の受容について知ることのできる「訓読の基本」を用意しました。(第5号)	→340～349ページ
漢文編	2 寓話	・漢文についての理解を深める「漢文の窓」を用意しました。(第5号)	→358ページ
	3 唐詩	・自然の雄大さや季節の情景に触れた唐詩を用意しました。(第4号) ・唐詩が日本の文芸に与えた影響を示す「参考」を用意しました。(第5号)	→360～361ページ →360・362・366ページ
	4 史話	・友情や信頼の大切さについて考える教材を用意しました。(第3号)	→372～373ページ
	5 思想	・学問の重要性、人を思いやる心、社会に対する態度について考える教材を用意しました。(第1号)(第2号)(第3号) ・人として持つべき態度や心の在り方について考える教材を用意しました。(第3号)	→380～383ページ →384～385ページ

4.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 中学校までの学習内容とのつながりを図りやすくするため、教材の採録箇所を工夫しました。(学校教育法第51条1号)
- 日常的に読書に親しみ教養を高めるために、附録に「読書案内」を設け、「現代文編」の各単元に掲載している教材について、筆者・作者やジャンル・テーマに関連する図書を掲げました。(学校教育法第51条2号)
- 社会人として必要とされる国語の能力の基礎を身につけることができるように、「言語活動編」において、スピーチ、調査・発表、討論、通知文、情報の読み取り、実用文などを取り上げました。(学校教育法第51条3号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-132	高等学校	国 語	国語総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	国総 333	精選国語総合		

1.編修上特に意を用いた点や特色

- ①**目標**…表現力や理解力の育成, 伝え合う力の向上など, 「目標」に示された総合的な言語能力を養うため, 「内容」に示された3領域1事項の学習が効率的・有機的に行えるようにしました。
- ②**「A話す・聞く」**…「言語活動編」の1～3にスピーチ, 調査・発表, 討論の教材を用意するとともに, 「読む」教材との相互関連を図りました。
- ③**「B書く」**…「言語活動編」の4～6に随筆, 意見文, 通知文を書く教材を用意するとともに, 「読む」教材との相互関連を図りました(「通知文」を除く)。
- ④**「C読む」**…教材については, 「3内容の取扱い」(6)ウの観点に示された事項に留意して選定しました。
- ・読書については, 附録「読書案内」において, 「現代文編」の各単元に掲載している教材について, 筆者・作者やジャンル・テーマに関連する図書を掲げました。
 - ・言語活動については, イの情報とウの実用文は「言語活動編」7・8に, アの書き換えとエの読み比べは「古文編」「漢文編」で示しました。
- ⑤**「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」**
- ・「古文編」「漢文編」では, 伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるように配慮して教材を選定しました。
 - ・文語のきまり・訓読のきまりは, 読むことの学習に即して取り上げられるように配慮しました。「古文学習のしるべ」や「訓読の基本」などでは, 教材に即して重点的に扱えるようにしました。
 - ・語彙および漢字については, 「現代文編」の各教材末に「漢字と語彙」を示しました。

2.対照表

単元	教材名	指導事項・言語活動例との対応				頁	配当時数				学期
		話	書	読	伝		話	書	読	計	
現代文編											
1随想	届く言葉	ウ	エ	ア, エ, オ	イ(イ), ウ(ア)	10			2	2	
	〔言語〕8 実用文について考える	ウ, エ		ア, イ, エ, オ/〔言〕ウ		232			2	2	
	記憶にない街路樹	ウ	ア, ウ, エ/〔言〕ア	ア, エ, オ	イ(イ), ウ(ア)	16		1	1	2	
	〔言語〕4 随筆を書く		ア, ウ, エ/〔言〕ア			218		6		6	
2小説1	羅生門	ア, ウ/〔言〕ウ	エ	ア, ウ, オ	イ(イ), ウ(ア)	22	1		4	5	
	小説の読み方			ア, ウ, エ		45					
	〔言語〕3 討論する	ア, イ, ウ, エ/〔言〕ウ				214	3			3	

単元	教材名	指導事項・言語活動例との対応				頁	配当時数				学期
		話	書	読	伝		話	書	読	計	
	ドライ・クリーニング	ア, イ	ア	ア, ウ, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	36			2	2	1 学期 29
3評論1	今ここにある無数の未知	ウ	イ	ア, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	50			2	2	
	水の東西	イ/【言】ア	エ	ア, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	55					
	評論の読み方			ア, イ, エ		61	1		2	3	
	〔言語〕1 スピーチする	イ, ウ, エ/ 【言】ア				208	2			2	
4小説2	城の崎にて	イ/【言】ア	エ	ア, ウ, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	66					2 学期 42
	文学への扉1			オ		98	1		4	5	
	沖縄の手記から	イ	ア, エ	ア, ウ, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	77			5	5	
5評論2	欲望と科学	ア	イ, エ	ア, イ, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	100			2	2	
	時間と自由の関係について	ア	イ, エ/ 【言】イ	ア, イ, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	106			2	4	
	思考への扉1			オ		116		2	2	4	
	〔言語〕5 意見文を書く		ア, イ, ウ, エ/【言】イ			220		8		8	
6詩歌	冬が来た	ウ	エ	ア, ウ	イ(ア)	118			1	1	3 学期 22
	汚れつちまつた悲しみに… …	ウ	エ	ア, ウ	イ(ア)	120			1	1	
	I was born	ウ	エ	ア, ウ	イ(ア)	122			1	1	
	夏の姿	ウ	エ	ア, ウ	イ(ア)	126			1	1	
	十五の心—短歌抄	ウ	エ	ア, ウ	イ(ア)	128		1	1	2	
	白牡丹—俳句抄	ウ	エ	ア, ウ	イ(ア)	132		1	1	2	
7評論3	まちの豊かさとは何か	ア, ウ/ 【言】ウ	エ	ア, イ, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	138					8 学期 42
	思考への扉2			オ		162	1		1	2	
	真の自立とは	ア	イ, エ/ 【言】イ	ア, イ, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	146		1	2	3	
	ものと記号	イ	イ	ア, イ, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	153			2	2	
	〔言語〕7 情報を読み取る	ウ, エ		ア, イ, エ, オ/【言】イ		226	1		2	3	
8小説3	富嶽百景	イ/【言】ア	エ	ア, ウ, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	164					9 学期 22
	文学への扉2			オ		190	1		4	5	
	鏡	イ	ア	ア, ウ, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	179			3	3	
	〔言語〕6 通知文を書く		ア, エ/ 【言】ウ			224		4		4	
9評論4	生物の多様性とは何か	ア, イ, エ/ 【言】イ	イ, エ	ア, イ, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	192					3 学期 22
	思考への扉3			オ		206	1	1	2	4	
	〔言語〕2 調査して発表する	ア, イ, ウ, エ/【言】イ	イ			210	3	1		4	
	白	ア	イ, エ/ 【言】イ	ア, イ, エ, オ	イ(イ), ウ (ア)	199		1	1	2	
現代文編 計							15	27	51	93	

単元	教材名	指導事項・言語活動例との対応				頁	配当時数				学期
		話	書	読	伝		話	書	読	計	
古文編											
1古文 入門	児のそら寝			ア, イ	ア(イ), イ (ア)	236			1	1	1 学期 8
	古文学習のしるべ1				ア(イ), イ (ア)	238					
	検非違使忠明			ア, イ	ア(イ), イ (ア)	240			1	1	
	古文学習のしるべ2				ア(イ), イ (ア)	242					
	絵仏師良秀			ア, イ	ア(イ), イ (ア)	244			1	1	
	古文学習のしるべ3				ア(イ)	246					
2随筆	徒然草			イ, オ	ア(イ)	248			5	5	
	古文の窓1			オ	ア(ア)	258					
3歌物 語	伊勢物語			イ, ウ	ア(イ)	260					
	言語活動1		ア, エ	ウ／【言】ア	ア(ア)	269		1	3	4	
	古文の窓2			オ	ア(ア)	270					
4日記と 随筆	土佐日記			ア, エ	ア(イ)	272					
	古文の窓3			オ	ア(ア)	278			3	3	
	和歌の解釈			オ	ア(イ), イ (ア)	279					
	枕草子			ア, オ	ア(イ)	280			2	2	
5作り物 語と軍 記物語	竹取物語			ア, ウ	ア(イ)	286					
	古文の窓4			オ	ア(ア)	292			2	2	
	古文の窓5			オ	ア(ア)	293					
	古文学習のしるべ4				ア(イ), イ (ア)	294					
	平家物語			ア, ウ	ア(イ)	296			2	2	
	古文の窓6			オ	ア(ア)	306					
6和歌	万葉集			ア, ウ	ア(イ), イ (ア)	308			1	1	
	古今和歌集			ア, ウ	ア(イ), イ (ア)	312			1	1	
	新古今和歌集			ア, ウ	ア(イ), イ (ア)	316					
	古文学習のしるべ5				ア(イ), イ (ア)	320		1	1	2	
	言語活動2		イ, エ	ア, ウ／ 【言】エ	ア(ア), イ (ア)	322					
7俳諧	奥の細道			ア, エ	ア(ア), ア (イ)	326			3	3	
古文の 広がり	「おもしろい」と「おかしい」			オ	ア(ア), イ (ア)	335			1	1	
	古文の窓7			オ	ア(ア), イ (ア)	338					
古文編 計							0	2	27	29	

単元	教材名	指導事項・言語活動例との対応				頁	配当時数				学期
		話	書	読	伝		話	書	読	計	
漢文編											
1漢文 入門	訓読の基本				ア(ア), ア (イ), イ (ア), イ(イ)	340			2	2	1 学 期 7
	故事成語一二編			ア, イ, ウ, オ	ア(ア), ア (イ), イ(イ)	350			2	2	
	漢文の窓1			オ	ア(ア)	351					
2寓話	寓話一三編			ア, イ, ウ, オ	ア(ア), ア (イ), イ(イ)	354			3	3	
	漢文の窓2			オ	ア(ア)	358					
3唐詩	唐詩一十首			ア, イ, ウ, オ/【言】エ	ア(ア), ア (イ), イ(イ)	360					
	言語活動3		ウ, エ/ 【言】ア	ア/ 【言】ア, エ	ア(ア), イ(ア)	367		1	3	4	
	漢文の窓3				ア(イ)	368					
4史話	史話一三編			ア, イ, ウ, エ, オ	ア(ア), ア (イ), イ(イ)	370			3	3	
	漢文の窓4			オ	ア(ア)	378					
5思想	論語一十章			ア, イ, ウ, エ	ア(ア), ア (イ), イ (ア), イ(イ)	380			3	3	
	漢文の窓5			オ	ア(ア)	386					
	孟子			ア, イ, ウ, エ	ア(ア), ア (イ), イ (ア), イ(イ)	384			1	1	
漢文編 計							0	1	17	18	
合計							15	30	95	140	
[備考] ・見出し欄の「話」は、「話すこと・聞くこと」領域、「書」は「書くこと」領域、「読」は「読むこと」領域、「伝」は「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を指す。 ・「指導事項・言語活動例との対応」の「話」「書」「読」欄に、【言】とともに示された記号は言語活動例を表し、それ以外の記号は指導事項を表す。											